

所沢市教育委員会  
教育長 佐藤 徳 一 様

所沢市教育委員会所管指定管理者選定委員会  
委員長 藤田 晃

所沢市立所沢図書館分館指定管理者候補者選定報告書

下記により、所沢市立所沢図書館分館 {所沢分館グループ (所沢市立所沢図書館所沢分館・所沢市立所沢図書館吾妻分館・所沢市立所沢図書館柳瀬分館) 及び、新所沢分館グループ (所沢市立所沢図書館新所沢分館・所沢市立所沢図書館椿峰分館・所沢市立所沢図書館富岡分館・所沢市立所沢図書館狭山ヶ丘分館)} の指定管理者候補者として、株式会社ヴィアックスを選定します。

記

- 1 指定期間 平成24年 4月 1日から平成29年 3月31日 (5年間)
- 2 総評価点

【所沢分館グループ】 (委員1名につき216点/委員7名の総計1512点満点)

	株式会社 ヴィアックス	B	C	D	E
合計	1271点	1220点	945点	1094点	1171点
得点割合	84.1%	80.7%	62.5%	72.4%	77.4%

【新所沢分館グループ】 (委員1名につき216点/委員7名の総計1512点満点)

	株式会社 ヴィアックス	B	C	D
合計	1281点	1230点	981点	1063点
得点割合	84.7%	81.3%	64.9%	70.3%

※別紙「指定管理者応募者評価結果集計表」参照

3 総合評価

- ① 総評価点が最も高い。
- ② 図書館の管理運営業務を会社の業務の一つとして位置づけ、指定管理施設ほか多くの委託業務の実績をもち、その豊富な経験の蓄積の面で安定的な運営が期待できる。
- ③ 会社の財務状況及び業務内容も問題はなく、現状分析、対策についても詳細かつ具体的であり、運営能力の高さがうかがえる。
- ④ 「事業計画書」の「図書館分館を管理運営する場合の基本的な考え方」の中で「所沢市の基本理念と方針の理解」を明確に述べており、当市施設の指定管理を行なううえでの認識を持っている。
- ⑤ 図書館本館との業務連携に対して弾力的な対応が可能である。

4 附帯意見

- ① 利用者の拡大、独自事業計画の提案について着実に実施するよう努めること。
- ② 障がい者の雇用について考慮すること。
- ③ 早期に司書等の配置率向上に努めること。
- ④ 安全管理・危機管理体制の整備について、より一層の充実に努めること。
- ⑤ スケールメリットによる運営経費の縮減に努めること。
- ⑥ 図書館本館は、継続監視の実施により確実な状況把握を行なうこと。